

平成29年度学校評価指標・計画表

徳島県立吉野川高等学校 No.1

自 己 評 価		
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画
1 学校運営の充実	(全体レベル) 1) 教職員研修の充実を図ることで教職員の資質向上に努め、学校全体の教育力を向上させる。 2) 教育環境を整備し、地域や社会の要請を視野に入れた特色ある学校づくりを推進する。 3) 広報活動を充実させ、地域に根ざした開かれた学校づくりを推進する。 (下位組織レベル) ①各種教職員研修の充実 ①協働精神に満ちた教職員の組織づくり ①教職員間の情報活用能力と情報モラルの育成 ②特色ある学校づくりの推進 ②学校開放・公開，地域貢献ボランティア活動 ③マスメディアを活用した広報やホームページの充実，学校行事の公開等，積極的な情報発信	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価指標</div> ①-1 各種教職員研修の実施 年10回以上 ①-2 職員共有サーバーの利用，資産持ち出し管理シートの活用に関するアンケートの実施 100% ①-3 教員間の協力度を計るアンケートの実施 90%以上 ①-4 情報セキュリティに関する規約の遵守並びに教職員全体での意思統一 ウィルスチェック 年6回以上 ②-1 地域に向けた開放講座の実施 年5回以上 ②-2 地域と連携した取り組みや地域の保全活動の実施 年20回以上 ③-1 学校ホームページの更新 年50回 ③-2 体験入学の満足度を計るアンケートの実施（保護者を含む） 90%以上
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">活動計画</div> ①-1 コンプライアンス，特別な支援を必要とする生徒への対応などに関する研修会を実施する。 ①-2 職員共有サーバーを活用し，校務の効率化を図るとともに，資産管理シートの活用の徹底を図る。 ①-3 「報告・連絡・相談」の徹底を図り，教職員間の共通理解を深める。 ①-4 情報セキュリティポリシーを遵守し，情報漏洩防止を図る。 ②-1 農業科・商業科の特色を生かした公開講座等を実施する。 ②-2 アグリクラブやビジネス研究部等の部活動や専門教育を通してボランティア活動を推進する。 ③-1 保護者や地域に，本校の特色や学習活動などを積極的かつリアルタイムな情報を提供できるよう，ホームページの更新や充実を図る。 ③-2 体験入学において，本校の特色ある学習内容に関する講座を開設する。

平成29年度学校評価指標・計画表

徳島県立吉野川高等学校 No.2

自 己 評 価		
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画
2 確かな学力の育成	<p>(全体レベル)</p> <p>1) 基礎基本の定着を図り、自己教育力を高める。</p> <p>2) 個性の伸張を図り、専門的な知識・技術を習得させ、スペシャリストを育成する。</p> <p>3) 主権者意識を高める教育を推進する。</p> <p>(下位組織レベル)</p> <p>①基礎学力の向上に向けた取り組み</p> <p>①学校関係者評価アンケートの実施</p> <p>①読書習慣の定着</p> <p>①図書館の魅力の向上</p> <p>②各種資格取得の奨励と補習体制の構築による合格率の向上</p> <p>②体験的・実践的な農業・商業教育の推進</p> <p>③公民科をはじめとした各教科の授業やホームルーム活動、学校行事等の実施</p>	<p>評価指標</p> <p>①-1 学力向上に関する職員研修・教科会の実施 各学期1回以上</p> <p>①-2 学校評価アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒授業満足度 80%以上 ・職員授業充実度 80%以上 ・保護者学力向上・学習内容充実度 70%以上 ・基礎学力に向けた取り組み満足度 80%以上 <p>①-3 校内読書会の実施回数と参加者数 年6回 120人</p> <p>①-4 貸出冊数 1,500冊</p> <p>①-5 読書感想文の応募数 360人</p> <p>①-6 図書館だよりの発行回数 年10回</p> <p>①-7 図書館蔵書の満足度 90%</p> <p>①-8 図書館入館者数 5,000人</p> <p>①-9 朝読週間の実施回数 年10回</p> <p>①-10朝読週間 生徒満足度 75%以上</p> <p>②-1 [農業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本農業技術検定3級 農業科学科、生物活用科1年 受験率:100% 合格率:90%以上 ・フラワー装飾・園芸装飾技能検定3級 生物活用科3年 受験率:100% 合格率:90%以上 <p>[商業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全商3級1種目以上 取得者100% ・全商2級1種目以上 取得者70% ・全商1級1種目以上 取得者30名 ・全商1級2種目以上 取得者10名 ・全商1級3種目以上 取得者5名 ・日商簿記2級合格 1名 <p>②-2 県教育委員会等主催の「特色ある取組に関する各種事業」の実施 3事業以上</p> <p>③-1 「政治や選挙への関心が高まった」と回答した生徒 70%以上</p> <p>③-2 主権者教育に関するホームルーム活動や学校行事の実施 年3回以上</p> <p>活動計画</p> <p>①-1 学力向上委員会において取り組みの検証を行う。</p> <p>①-2 生徒・保護者・職員を対象とした学校評価アンケートを実施する。</p> <p>①-3 希望者を募り、校内読書会を実施する。</p> <p>①-5 読書感想文コンクールに応募する。</p> <p>①-7 購入希望図書アンケートを実施する。</p> <p>①-8 図書館を利用した授業等でアンケートを実施する。</p> <p>①-9 毎月1週間朝読週間を実施する。</p> <p>②-1 資格試験の実施に関して、生徒への周知を徹底する。また、取得率向上に向けて、補習体制を強化する。</p> <p>②-2 実施計画書に基づいて実施する。</p> <p>③-1 生徒を対象としたアンケートを実施する。</p> <p>③-2 主権者教育指導計画に基づいて実施する。</p>

平成29年度学校評価指標・計画表

自 己 評 価		
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画
3 生徒指導の徹底	(全体レベル) 1) 基本的な生活習慣を確立を図り、身だしなみを整え、規範意識や道徳心を高める生徒指導を推進する。 2) 教職員の共通理解を図り、保護者、地域社会との連携を密にし、信頼感に満ちた生徒指導を推進する。 3) 教職員間での情報の共有化を推進する 4) 学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめの早期発見・早期対応に努める。 5) いじめ防止等対策委員会の校内体制の運営に努める。 (下位組織レベル) ① 日常的な生活指導による基本的な生活習慣の確立 ② 集会時や校長室・職員室・進路指導室入室時の服装の整備の徹底 ③ 保護者、地域社会、関係機関との連携を密にした指導の実践 ④ 教職員間での情報の共有化並びに連携強化 ⑤ 常時指導と組織的な対応を継続 ⑥ いじめ防止等対策委員会の積極的活用	評価指標 ①-1 校門での登校指導実施率 100% ①-2 校外巡視の実施 週1回以上 ①-3 頭髮服装一斉指導時における違反率 各学年4.5%以下 ①-4 ネクタイ・リボン・靴下・第一ボタンの整備の徹底 100% ①-5 道徳教育の充実 LHR年3回実施 ②-1 生徒指導委員会の決定事項・検討事項の教職員への伝達の徹底 随時 ②-2 保護者・地域住民のからの苦情や相談の処理を徹底 随時 ③ 学年別の情報交換会実施 每学期1回 ④ いじめのアンケート実施 年2回 ⑤ いじめ行為等の事案が発生したらずみやかに委員会を開き適切に対応 随時
		活動計画 ①-1 毎朝校門で頭髮・服装指導を中心とした登校指導を実施する。 ①-2 生徒指導課を中心とし、毎月1回、学校安全の日を実施するとともに登下校時に鴨島駅周辺での立哨指導も週1回は行う。 ①-3 生徒指導課を中心とし、毎月1回、全校集会時に頭髮服装検査を行い、事後指導・継続指導を徹底する。 ①-4 校長室・職員室・進路室入室や集会等において制服着用を徹底する。 ①-5 各学年ごとに指導計画を立て統一した指導を行う。 ②-1 職員朝礼において共通理解を図る。 ②-2 保護者や地域住民・補導センター等の苦情や相談に対して迅速かつ誠実に対応する。 ②-3 年度初めには学年別に情報交換会を行い生徒の家庭環境や学校生活に関する状況を共有する。 ④ アンケートの結果により面談等を実施し、早期対応に努める。 ⑤ 事案が発生時、迅速に組織的な対応を行う。

平成29年度学校評価指標・計画表

徳島県立吉野川高等学校 No.4

自 己 評 価						
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画				
4 人権教育並びに特別支援教育の推進	(全体レベル) 1) 普遍的・個別的な観点から学校教育全体をとおしての人権教育の推進する。 2) 自他を大切にする心や態度を育成する。 3) 特別支援教育を推進し、個々に応じた支援を行う。 (下位組織レベル) ①人権学習ホームルーム活動の充実 ②人権啓発活動の充実 ③教育相談・特別支援教育における教職員研修の充実 ④教育相談体制の充実 ⑤特別支援の計画策定及び関係機関との連携	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: left;">評価指標</th> </tr> <tr> <td> ①-1 生徒の体験的参加型の活動を取り入れた人権学習ホームルーム実施回数 年5回 ①-2 人権学習ホームルーム活動についての生徒の満足度 70%以上 ②-1 人権映画会の実施 年1回 ②-2 人権映画会の生徒の満足度 80%以上 ②-3 生徒の人権啓発活動への参加 ・中・高生による人権交流事業への参加回数 年5回以上 ・文化祭展示用ポスター・標語・書道作品 1年生全員提出 ・人権の日の人権委員による啓発活動回数 年9回 ②-4 人権教育教職員研修の実施回数 年8回 ②-5 “あわ”人権学習ハンドブックの活用 年5回以上 ③-1 教育相談教職員研修の実施回数 年1回 (それ以降は必要に応じて適宜) ③-2 特別支援教育研修会実施回数 年3回 ④-1 こころと体の健康カードの活用 年2回 ④-2 カウンセリング室の開放 週1回 ④-3 二者面談・三者面談に同席 (適宜) ⑤-1 就労体験・実習協力事業所の確保 2社以上 ⑤-2 特別な支援を必要としていた卒業生の継続支援を行う。 のべ2社以上 </td> </tr> <tr> <th style="text-align: left;">活動計画</th> </tr> <tr> <td> ①-1 人権教育主事と学年主任・担任との連携を図る。 ②-1 人権映画鑑賞によって人権意識を高める。 ②-4 人権問題の実態から学ぶ研修を実施する。 ③-2 特別支援教育の理解を進めるため、研修会を実施する。 ④-1 特別な支援が必要な生徒に対しての相談活動を推進する。 ④-2 カウンセリング室を開放することにより生徒個々の状態を把握するとともに生徒が相談しやすい環境作りに努める。 ④-3 みなと高等学園他、関係機関との連携・相談を図る。 ⑤-1 外部機関と連携を深めるとともに、企業訪問を行う。 ⑤-2 職場訪問をし、継続支援を行う。 </td> </tr> </table>	評価指標	①-1 生徒の体験的参加型の活動を取り入れた人権学習ホームルーム実施回数 年5回 ①-2 人権学習ホームルーム活動についての生徒の満足度 70%以上 ②-1 人権映画会の実施 年1回 ②-2 人権映画会の生徒の満足度 80%以上 ②-3 生徒の人権啓発活動への参加 ・中・高生による人権交流事業への参加回数 年5回以上 ・文化祭展示用ポスター・標語・書道作品 1年生全員提出 ・人権の日の人権委員による啓発活動回数 年9回 ②-4 人権教育教職員研修の実施回数 年8回 ②-5 “あわ”人権学習ハンドブックの活用 年5回以上 ③-1 教育相談教職員研修の実施回数 年1回 (それ以降は必要に応じて適宜) ③-2 特別支援教育研修会実施回数 年3回 ④-1 こころと体の健康カードの活用 年2回 ④-2 カウンセリング室の開放 週1回 ④-3 二者面談・三者面談に同席 (適宜) ⑤-1 就労体験・実習協力事業所の確保 2社以上 ⑤-2 特別な支援を必要としていた卒業生の継続支援を行う。 のべ2社以上	活動計画	①-1 人権教育主事と学年主任・担任との連携を図る。 ②-1 人権映画鑑賞によって人権意識を高める。 ②-4 人権問題の実態から学ぶ研修を実施する。 ③-2 特別支援教育の理解を進めるため、研修会を実施する。 ④-1 特別な支援が必要な生徒に対しての相談活動を推進する。 ④-2 カウンセリング室を開放することにより生徒個々の状態を把握するとともに生徒が相談しやすい環境作りに努める。 ④-3 みなと高等学園他、関係機関との連携・相談を図る。 ⑤-1 外部機関と連携を深めるとともに、企業訪問を行う。 ⑤-2 職場訪問をし、継続支援を行う。
		評価指標				
①-1 生徒の体験的参加型の活動を取り入れた人権学習ホームルーム実施回数 年5回 ①-2 人権学習ホームルーム活動についての生徒の満足度 70%以上 ②-1 人権映画会の実施 年1回 ②-2 人権映画会の生徒の満足度 80%以上 ②-3 生徒の人権啓発活動への参加 ・中・高生による人権交流事業への参加回数 年5回以上 ・文化祭展示用ポスター・標語・書道作品 1年生全員提出 ・人権の日の人権委員による啓発活動回数 年9回 ②-4 人権教育教職員研修の実施回数 年8回 ②-5 “あわ”人権学習ハンドブックの活用 年5回以上 ③-1 教育相談教職員研修の実施回数 年1回 (それ以降は必要に応じて適宜) ③-2 特別支援教育研修会実施回数 年3回 ④-1 こころと体の健康カードの活用 年2回 ④-2 カウンセリング室の開放 週1回 ④-3 二者面談・三者面談に同席 (適宜) ⑤-1 就労体験・実習協力事業所の確保 2社以上 ⑤-2 特別な支援を必要としていた卒業生の継続支援を行う。 のべ2社以上						
活動計画						
①-1 人権教育主事と学年主任・担任との連携を図る。 ②-1 人権映画鑑賞によって人権意識を高める。 ②-4 人権問題の実態から学ぶ研修を実施する。 ③-2 特別支援教育の理解を進めるため、研修会を実施する。 ④-1 特別な支援が必要な生徒に対しての相談活動を推進する。 ④-2 カウンセリング室を開放することにより生徒個々の状態を把握するとともに生徒が相談しやすい環境作りに努める。 ④-3 みなと高等学園他、関係機関との連携・相談を図る。 ⑤-1 外部機関と連携を深めるとともに、企業訪問を行う。 ⑤-2 職場訪問をし、継続支援を行う。						

平成29年度学校評価指標・計画表

徳島県立吉野川高等学校 No. 5

自 己 評 価		
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画
5 進路指導の充実	<p>(全体レベル)</p> <p>1) キャリア教育を通して望ましい勤労観・職業観の育成と自らの将来設計の構築を図る。</p> <p>2) 進路情報の的確な提供による進路指導の充実を徹底する。</p> <p>3) 進路先の確保並びに定着化のための指導体制の充実に努める。</p> <p>(下位組織レベル)</p> <p>①キャリア教育全体計画の策定とそれに基づいた取組の推進</p> <p>②生徒理解を深め個に応じたきめ細やかな進路指導の徹底</p> <p>③個々の進路希望に応じた進路開拓の推進</p> <p>④進路指導の力量を高めるため、教職員研修を実施</p>	<p>評価指標</p> <p>①-1 外部講師招聘回数 年3回</p> <p>①-2 校内・校外ガイダンス実施 年各3回</p> <p>①-3 進路補習実施 生徒の満足度80%以上</p> <p>①-4 企業見学・職場体験の実施 20事業所程度</p> <p>②-1 保護者への説明および情報提供 年2回 担任の面談実施回数 各人2回以上</p> <p>②-2 1・2年進路ホームルーム活動の実施 年4回</p> <p>②-3 就職・進学資料の提供 年5回程度</p> <p>②-4 特別支援を必要とする生徒の進路相談 随時</p> <p>③ 企業訪問の実施 200事業所</p> <p>④ 学年ごとに教員研修会を実施 年2回</p>
		<p>活動計画</p> <p>①-1 就職ガイダンス等において外部講師の活用を図る。</p> <p>①-2 分野別、職業体験型、就職・進学説明会を実施する。</p> <p>①-3 就職・進学に向けた5教科の補習を実施する。</p> <p>②-1 保護者対象の進路ガイダンスや面談等を実施する。</p> <p>②-2 「キャリアノート」を活用した進路ホームルーム活動を実施する。</p> <p>②-4 支援が必要な生徒に対し、担当教員や外部組織と連携し進路指導を進める。</p> <p>③ 新規の企業訪問を実施するなど、積極的な進路開拓を行う。</p> <p>④ 学年会等を活用し、進路指導の研修を実施する。</p>

平成29年度学校評価指標・計画表

徳島県立吉野川高等学校 No. 6

自 己 評 価		
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画
6 活力ある特別活動の推進	<p>(全体レベル)</p> <p>1) 生徒会活動・ホームルーム活動・学校活性化を図る。</p> <p>2) 1年生の部活動全員加入による部活動の活性化を図る。</p> <p>3) 地域の環境整備に努める。</p> <p>(下位組織レベル)</p> <p>①生徒会活動, ホームルーム活動の活性化</p> <p>①学校行事の活性化</p> <p>②部活動の活性化と学校リーダーの育成</p> <p>②農業クラブ活動の活性化</p> <p>③自然保護の視点に立った地域に根ざした環境整備活動の推進</p>	<p>評価指標</p> <p>①-1 生徒会活動に対する満足度 70%</p> <p>①-2 あいさつ運動実施 年10回以上</p> <p>①-3 ホームルーム活動の充実度 70%</p> <p>①-4 各種委員会の充実度 70%</p> <p>①-5 学校祭の満足度 75%</p> <p>②-1 部活動加入率 1年100%, 2・3年70%</p> <p>②-2 各部主将・部長会 年3回以上</p> <p>②-3 各科での取り組みと目標</p> <p>(商業)</p> <p>情報処理競技会・電卓競技会・ワープロ競技会・簿記コンクール・意見体験発表大会・商業研究発表・簿記新人大会</p> <p>3位以内</p> <p>(農業)</p> <p>農業クラブ県予選会において最優秀賞受賞</p> <p>2部門以上</p> <p>押し花アート, フラワーアレンジメント等のコンクール出席</p> <p>全国入賞: 1作品以上</p> <p>県内入賞: 5作品以上</p>
		<p>活動計画</p> <p>①-1 生徒が自発的に活動し, 学校生活の充実や改善について指導する。</p> <p>①-2 校門であいさつ運動を毎月実施する。</p> <p>①-4 各代表生徒を中心に鴨島駅周辺・通学路の清掃活動等を生徒が主体となった活動を実施する。各環境委員を中心に地域の方と連携し, 江川周辺の環境整備活動を実践する。</p> <p>①-5 生徒会を中心に企画立案した学校祭を開催する。</p> <p>②-1 部員を積極的に勧誘し活性化を図り, 女子運動部の入部率を向上させる。部活動紹介や勧誘方法を工夫する。</p> <p>②-2 各部主将・部長を中心にルール・マナーの向上を指導させる。</p> <p>②-3 各部による活発な競技活動の展開を目指す。プロジェクト発表及び意見発表について, 専任の教員が担当する。</p> <p>各顧問等の指導によりアグリクラブでの質の高い作品作りを展開する。</p>

平成29年度学校評価指標・計画表

徳島県立吉野川高等学校 No.7

自 己 評 価						
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画				
7 防災・環境教育の推進	(全体レベル) 1) 自他の生命を尊重し、健康の保持増進と安全・防災意識の高揚を図る。 2) 新学校版環境ISO認定校として実践を推進する。 3) 食の安全・安心の観点からの教育を推進する。 (下位組織レベル) ①安全教育の充実 ①効果的な防災教育の計画・実践 ①有効適切な防災避難訓練の企画と展開 ①適切な保健管理 ①自己の健康管理能力の育成 ①適切な健康相談活動 ②節電・節水・ゴミの分別の徹底 ②校内の美化 ②正しい農薬散布の徹底と事故防止 ③食育の実施	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: left;">評価指標</th> <td style="vertical-align: top;"> ①-1 防災に関する情報提供 月1回 ①-2 避難訓練 年3回実施 ①-3 防災クラブの活動 年7回以上 ①-4 保健だよりの発行 年8回 ①-5 各種講演会等の実施 年3回 ①-6 健診結果を通知 随時 ①-7 心身の健康に関する保健調査 年2回 ②-1 電気・水道の使用量が、前年度を下回る。 ②-2 毎日の清掃に取り組んでいる。 83%以上 ②-3 学校はゴミの落ちていない整った環境が保たれている。 85%以上 ②-4 毒劇物・農薬使用の軽減 前年度比10%削減 ③-1 食育通信の発行 年1回以上 ③-2 食育関連講習会の実施 年3回以上 </td> </tr> <tr> <th style="text-align: left;">活動計画</th> <td style="vertical-align: top;"> ①-1 防災計画を周知徹底すると共に、防災情報を提供する。 ①-2 防災訓練の実施及び避難経路・避難場所・危険箇所の確認をする。 ①-3 学校内外で活動を行い、その活動内容を報告する。特に、地域住民との炊き出し体験を実施し、地域と連携を図る。 ①-4 保健だよりを発行する。 ①-5 心肺蘇生法講習会・歯科保健指導等を実施する。 ①-6 保護者に検診結果を通知する。 ①-7 保健調査を実施し心身の健康問題を把握する。 ②-1 水道量・電気量の月別の使用量をグラフ化して掲示し、節電・節水の呼び掛けを行う。 ②-2 年2回、生徒・職員にアンケート調査を行う。 ②-3 クリーンデイの実施と環境美化委員による清掃活動を行い、状況等についてアンケート調査を行う。 ②-4 適正な農薬散布を徹底する。 ③-1 食育通信の編集方法に工夫を加え、より効果的に啓発を行う。 ③-2 食育講演会やPTA研修活動・家庭クラブ活動で食育に関する講習会を計画し、食事の重要性を呼びかける。 </td> </tr> </table>	評価指標	①-1 防災に関する情報提供 月1回 ①-2 避難訓練 年3回実施 ①-3 防災クラブの活動 年7回以上 ①-4 保健だよりの発行 年8回 ①-5 各種講演会等の実施 年3回 ①-6 健診結果を通知 随時 ①-7 心身の健康に関する保健調査 年2回 ②-1 電気・水道の使用量が、前年度を下回る。 ②-2 毎日の清掃に取り組んでいる。 83%以上 ②-3 学校はゴミの落ちていない整った環境が保たれている。 85%以上 ②-4 毒劇物・農薬使用の軽減 前年度比10%削減 ③-1 食育通信の発行 年1回以上 ③-2 食育関連講習会の実施 年3回以上	活動計画	①-1 防災計画を周知徹底すると共に、防災情報を提供する。 ①-2 防災訓練の実施及び避難経路・避難場所・危険箇所の確認をする。 ①-3 学校内外で活動を行い、その活動内容を報告する。特に、地域住民との炊き出し体験を実施し、地域と連携を図る。 ①-4 保健だよりを発行する。 ①-5 心肺蘇生法講習会・歯科保健指導等を実施する。 ①-6 保護者に検診結果を通知する。 ①-7 保健調査を実施し心身の健康問題を把握する。 ②-1 水道量・電気量の月別の使用量をグラフ化して掲示し、節電・節水の呼び掛けを行う。 ②-2 年2回、生徒・職員にアンケート調査を行う。 ②-3 クリーンデイの実施と環境美化委員による清掃活動を行い、状況等についてアンケート調査を行う。 ②-4 適正な農薬散布を徹底する。 ③-1 食育通信の編集方法に工夫を加え、より効果的に啓発を行う。 ③-2 食育講演会やPTA研修活動・家庭クラブ活動で食育に関する講習会を計画し、食事の重要性を呼びかける。
		評価指標	①-1 防災に関する情報提供 月1回 ①-2 避難訓練 年3回実施 ①-3 防災クラブの活動 年7回以上 ①-4 保健だよりの発行 年8回 ①-5 各種講演会等の実施 年3回 ①-6 健診結果を通知 随時 ①-7 心身の健康に関する保健調査 年2回 ②-1 電気・水道の使用量が、前年度を下回る。 ②-2 毎日の清掃に取り組んでいる。 83%以上 ②-3 学校はゴミの落ちていない整った環境が保たれている。 85%以上 ②-4 毒劇物・農薬使用の軽減 前年度比10%削減 ③-1 食育通信の発行 年1回以上 ③-2 食育関連講習会の実施 年3回以上			
活動計画	①-1 防災計画を周知徹底すると共に、防災情報を提供する。 ①-2 防災訓練の実施及び避難経路・避難場所・危険箇所の確認をする。 ①-3 学校内外で活動を行い、その活動内容を報告する。特に、地域住民との炊き出し体験を実施し、地域と連携を図る。 ①-4 保健だよりを発行する。 ①-5 心肺蘇生法講習会・歯科保健指導等を実施する。 ①-6 保護者に検診結果を通知する。 ①-7 保健調査を実施し心身の健康問題を把握する。 ②-1 水道量・電気量の月別の使用量をグラフ化して掲示し、節電・節水の呼び掛けを行う。 ②-2 年2回、生徒・職員にアンケート調査を行う。 ②-3 クリーンデイの実施と環境美化委員による清掃活動を行い、状況等についてアンケート調査を行う。 ②-4 適正な農薬散布を徹底する。 ③-1 食育通信の編集方法に工夫を加え、より効果的に啓発を行う。 ③-2 食育講演会やPTA研修活動・家庭クラブ活動で食育に関する講習会を計画し、食事の重要性を呼びかける。					